

# あいちの ふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会  
名古屋市東区白壁一丁目50番地  
☎(052)212-5500  
編集発行人 安藤 貴康  
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/>

■ 新年のご挨拶	02
■ 各地の社協をたずねて	03
■ 教育支援資金のご案内、ミニ福祉検定(問題)	04
■ 施設紹介	05
■ 福祉サービス利用支援センターだより	06
■ 私たちと一緒に未来予想図を描きましょう♪ 福祉人材センター研修部	07
■ 福祉生きがいセンターだより	08・09
■ 第32回ふれあいフォトコンクール入賞者決定 第66回愛知県社会福祉大会	10
■ 愛知県共同募金会だより	11
■ 福祉の保険 ご案内、ご寄付に感謝、ミニ福祉検定(解答)	12

2019.01  
no.494

## 「幸せのカタチ。」

愛知県社会福祉協議会福祉の星フォーラム企画委員  
ラジオサンキューFM 84.5 パーソナリティ

林 ともみ

「幸せのカタチ。」二〇一五年の福祉の星フォーラムで、私が講演をさせて頂いたときのタイトルです。その後は、ご縁を頂き総合同会をさせて頂いています。日々の生活の中で、まさに幸せのカタチは人それぞれだと感じています。平成八年に生まれた長女は先天的に障害があり、二十二歳になった今でも身辺自立ができず、話すことも一人で上手に歩くこともできません。何をすることも誰かの力を借りなければいけません。でも、生活介護の事業所で楽しそうに「お仕事」をしています。一人ではできないことも、事業所の皆さんの

手助けで「できた」という「幸せ体験」をさせて頂いていて、娘と関わって下さる皆様に本当に感謝しています。福祉の星フォーラムでは、福祉現場で働く若手職員の生の声を聴くコーナーがあります。壁にぶつかりながら「福祉」という仕事に誇りを持ち、価値を見出している皆さんの姿に、私は毎回感動し、心の中で若い星たちにエールを送っています。「福祉」とは、まさに人の「幸せ」これからも、様々な幸せのカタチに寄り添う「福祉の星」の誕生を、そして、その星に出会えることを楽しみにしています。



第32回ふれあいフォトコンクールプリント部門 愛知県社会福祉協議会会長賞  
「かまぐらの中の家族」 小林 芳一さん撮影



# 人生百年時代、それは、 輝きを増す福祉のとき！

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 会長 大沢 勝

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年は、本庶佑京大特別教授のノーベル生理学・医学賞受賞など明るい話題もありましたが、他方、酷暑や豪雨に加え、全国各地で自然の大災害が多発しました。改めて、私たちの「くらし」と「いのち」を守る体制づくりが急務であることを痛感しました。

さて、いよいよ「平成」の時代に一区切りをつけるを迎えました。この大きな節目を迎える今年の干支は、己亥（つちのこ）です。己（つちのこ）は、十干では、五行の「土」にあたります。また、己には「おさまめる」という意味もあります。十二支に動物名が当てられた十二獣は、後漢時代に整理がされたといわれます。それによると「亥」は「豕（ぶた）」となります。日本では、「亥」には「猪」を当てます。「猪」は、日本では「猪突猛進」の勇者が称えられ、英国王リチャード三世は「猪」と敬称され、ゲルマン

神話では、猪は天国で勇者のみが賞味できる食物とされてきました。しかし、中国では「家猪」として「豚」を指しています。また、「猪」の特徴的な行動様式に「泥浴び」（ノタ打ち）があります。「泥浴び」をする場所を「ノタ場」として、同じ場所が繰り返し使われます。ノタ打ち回るとは、猪の「泥浴び」の姿からきていますが、猪にとっては命がけの生命維持活動なのです。己亥の年は、時にノタ打ち回ることもあるが、やがて「おさまる」ことになる年なのでしょう。

ところで、「人生百年時代」を迎えた今、人びとのライフステージや地域社会の構造も大きく変わってきました。誰もが生涯を通して、いきいきと心豊かに暮らせる社会が実感できるよう、子どもから大人まで、皆で手を繋ぎ、知恵を出し合い、「共生と共創のまちづくり」に取り組んでいかねばなりません。福祉はその中核的な役割を担っています。

加えて、AI技術の活用など、テクノロジーが急速に発展しており、福祉の分野にとどまらず、日常生活にも深く影響を及ぼしつつあります。この先端技術が「人のしあわせ」に結びつくよう、「温みのある福祉の視点」を、技術開発に対しても積極的にアピールする「ポジティブ福祉」への発展と、福祉と異分野との連携・交流の活発化に努め、「愛知」から福祉の輝きを発信し、「あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい（あ・い・ち・ふ・く・し）」の実現に、誇りと自信をもって歩き続けたいと思います。

年頭にあたり、皆様やご家族の方々にとって幸多い年でありますよう祈念して、新年のご挨拶いたします。



# 地域とともに笑顔あふれるまちづくり

津島市社会福祉協議会

津島市では平成29年4月から『つま家事サポーター』が活動を開始し、利用者には大変喜ばれています。活動内容は、利用者とサポーターが一緒に行う家事支援と、サポーターのみが行うごみ出し・買物代行で、サポーターは有償ボランティアです。



▲つま家事サポーターの活動



この活動は、双方の介護予防も目的としており、サポーターが掃除機をかけ、利用者が手の届く範囲の拭き掃除をしたり、かがむ動作が難しい利用者にとってサポーターが浴室等の掃除をする間に利用者は簡単な片づけをするなど、その方に合った支援をしています。また、サービス導入時には包括支援センターやケアマネジャーと連携を図ることで、サポーターが安心でき、地域全体で利用者を見守るしくみとなっています。

このしくみづくりは津島市からの委託事業として生活支援コーディネーターが中心となり平成27年から取り組んできました。

津島市において社会福祉協議会がこの事業を担うきっかけとなったのは、介護保険事業開始当初から訪問介護等の介護保険事業を先駆的に取り組んできた点、市民の力を活用した校区「コミュニティ推進協議会」、ボランティア団体、

老人クラブとのつながりがあった点があげられます。準備段階において津島市社会福祉協議会のことを市民に知っていたたく機会ともなり、社協にとっても有意義な取組となりました。

今後の課題は二つあります。一つ目は、つま家事サポーターの他に地域住民が必要としている生活支援サービスは何かを知り、既存のサービスで補えなければ新しく創設することです。

二つめはニーズを把握するための協議体運営です。市民により近い第二層圏域については、実際に地域で活動をしている方の意見を多くいただける協議体を目指しています。その第一歩として



▲▼サポーター養成講座の様子



今年度、活動者交流会を開催しました。参加対象は「つま家事サポーター」と認知症患者・家族を支える市民グループ「オレンジサポーター」です。お互いの活動を知ること、ささえあいの重要性や活動者のやりがいを感じていただける機会となりました。

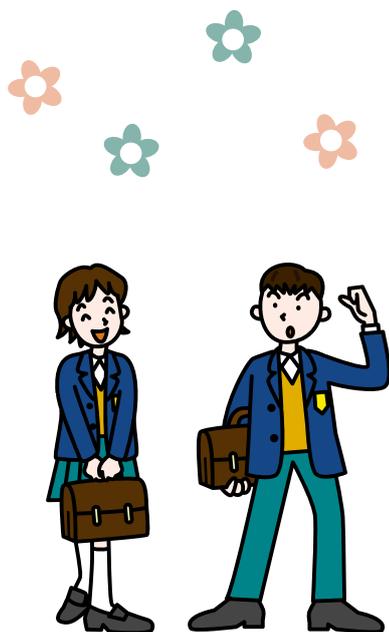
高齢者支援を中心として始まった生活支援サービスですが、今後はさまざまな世代をカバーする取組が求められることでしょうか。

『サポーターさんが来てくれて元気がなった』『活動を通じて地域に恩返ししたい』そんな素敵な笑顔をみせてくれる市民と共に、地域福祉推進に力をそそいでいきます。

# 教育支援資金のご案内

## 生活福祉資金 教育支援資金とは

他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯の方へ、学校教育法に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部及び専修学校の高等課程を含む。以下「高等学校」という。）、大学（短期大学及び専修学校の専門課程を含む。）又は高等専門学校に就学するのに必要な経費、又は同校の入学に際し必要な経費について、生計の負担を考え、必要最小限の資金を貸し付けるものです。



詳しくは、お住まいの市区町村社会福祉協議会へお問い合わせください。

	教育支援費	就学支度費
資金の種類	対象となる学校へ就学するために必要な経費（授業料、教科書、交通費等）	対象となる学校へ入学するために必要な経費（入学金、制服、体操服等）
貸付限度額	高等学校 月額35,000円以内 高等専門学校 月額60,000円以内 短期大学 月額60,000円以内 （専修学校専門課程を含む） 大学 月額65,000円以内 ※特に必要と認める場合に限り、貸付限度額の1.5倍まで貸付可能	500,000円以内
償還期限	据置期間（卒業後6か月以内）経過後、20年以内	
貸付利子	無利子	
連帯保証人備考	なしでも申請可。ただし、世帯の生計中心者が必ず連帯借受人となる 他制度が優先される	



みんなで挑戦!!



## 福祉検定



Q 厚生労働省が11月16日に発表した「2018年高年齢者の雇用状況」によると、66歳以上でも働ける制度のある企業の割合は、何%でしょうか。  
※今回の集計結果は、この雇用状況を報告した従業員31人以上の企業156,989社の状況をまとめたものです。

1 27.6% 2 37.6% 3 47.6%

こたえは…巻末をご覧ください。

施設紹介

社会福祉法人 久昌会 ひかり保育園

園長 伏見 昭道

当園は豊川市のほぼ中心に位置し、近くには商業施設もあり、閑静な住宅街の中にあります。

桜の季節には佐奈川沿い数キロにわたり花が咲き、子どもたちの散歩コースとして適した環境です。

保育目標は「いろいろな体験経験をして成就の喜び」を掲げています。「全園児の散歩」「3歳以上児の畑作業と漬け物作り」「年長児のお泊まり保育」があり、常に小さな「ヤッターね!」を積み重ねて、子どもたちの自尊心に繋がっています。



「無農薬野菜販売のお手伝い」

親子で手をつないで、歩くという機会が少なくなりました。園では特に事故には気をつけながら、何処にでも散歩に出かけていきます。

園の中だけの保育に限界があり、散歩することで、無限の学びがあると思っています。

散歩(2~8km)して身体に四季を感じ、常に五感を働かせるよう、保育士は子ども達に言葉掛けをしています。3歳以上児は土作りから始め、野菜の世話などの食育計画しています。梅干し・ラッキョ・生姜や野菜等、大根の漬け物を作り、園庭や畑に実がなれば、それを食べたり、ジャムに



「風呂敷作りの様子」

したりして、子どもにも手伝いさせて、生きる力を教えています。干した紫蘇のゆかり作りは、すり鉢を使った年長児の仕事です。

年長児のお泊まり保育は天狗に出会い、力授けてもらう行事です。がんばろう会の竹馬行進、23km歩く石巻登山。帰園は18時ごろになり保護者

は、園で待機し歩き通した我が子の成長を見て、子どもと保護者は涙なみだの感動です。



「石巻山へ散歩」



天狗という民話伝承を取り入れた保育で、見えないものの大切さを感じる力、そして天狗にいつでも何処にいても見守られているという、子ども達が安心感ある保育に心がけています。自分で卒園証書を和紙で漉き、園長が手書きし世界で一つだけの卒園証書で送り出しています。



「野菜作り体験」

## 「誰もが住みやすいまち」の実現にむけて!! ～愛知県における成年後見制度の取り組み～

愛知県社会福祉協議会では、司法・

福祉・学識等の関係者が集まり愛知県における成年後見制度のあり方等を検討する「成年後見制度研究委員会」を設置し、平成28年度には、県内

全ての市町村行政・社協、地域包括支援センター、関係入所施設、単位

民生委員児童委員協議会を対象に成年後見制度に関する実態調査を実施し、『成年後見制度に関する実態調査報告書』を取りまとめました。

その結果、成年後見制度の取り組みに関する地域的な格差や、制度についての正しい理解の不足などの課題が見つかりました。

この実態調査で明らかになった課題を基に、平成29年度には市町村の権利擁護・成年後見支援センター等のあり方や、成年後見制度の広報・啓発の方法について、委員会等で検討を

すすめました。そして、その成果を今年度『成年後見制度研究委員会報告書』にまとめました。

この報告書では、県内市町村の成年後見支援センター等の設立の経緯、取り組み内容等を把握するため実施したアンケート調査をもとに、県内の市町村で単独設置をしている17の成年後見支援センター（名古屋市を含む）のセンター立ち上げ方法の事例（社協発、官民共同発、行政発）等を掲載しています。また、権利擁護・

成年後見制度の広報・啓発とネットワークの構築について、利用者本人を中心とした関係性のなかで、各関係機関（各関係者）に、「どのようなことに気付いてほしいか」、「どこにつなげるのか」、「つなげるためにどうしたらよいか」という視点から整理しました。

平成30年度は、県内の市町村における成年後見制度の体制整備と推進を図ることを目的に「成年後見制度推進委員会」を設置し、成年後見地域ネットワーク会議として、成年後見支援センター等の設置に向けての検討会等に委員を派遣しています。また、今年度末には、成年後見制度の推進を目的としたセミナーを開催し、市町村での地域連携ネットワークについて実践事例を紹介していく予定です。

このような取り組みをとおして、県民一人ひとりが成年後見制度を正しく理解し、地域で「誰もが住みやすいまちづくり」を構築する一つのツールとして、成年後見制度がその機能を発揮できるよう、愛知県社会福祉協議会として今後も発信していきたいと思えます。

### —成年後見制度とは—

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分になった方々について、本人の権利を守る援助者（成年後見人、保佐人、補助人）を選ぶことで、この方々を法律的に支援する制度です。

（「家庭裁判所」パンフレットより）





## 私たちと一緒に未来予想図を描きましょう♪

福祉人材センター研修部

### ● 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程開催！

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」は今年で5年目を迎えます。

本年度は8月の「管理職員」を皮切りに、9月の「チームリーダー」、10月の「中堅職員」、11月の「初任者」と4課程で研修を開催し、564人が研修を修了しました。

この研修では事前課題としてテキストを読み込み、「事前学習およびプロフィールシート」を作り上げて2日間の面接授業に臨みます。研修では、「学ぶ」「気づく」「描く」「変わる」の4つのプロセスを通して自らの



自分たちの行動指針（管理職員課程）



部下の育成計画書を作成（チームリーダー課程）

キャリアアップの道筋を描き、福祉職員としてのキャリアデザインとそれを達成するためのアクションプランを構築する支援をしました。



一緒に受講した仲間たち（中堅職員課程）

事前課題のプロフィールシートや研修後に作成する「キャリアデザインシート」には上司からのコメントが必要で、受講生は、研修で得た新たな気づきを上司や職場の仲間と共有していくことで、構築したアクションプランを事業所全体で実践していくことを目指します。

受講生からは、「キャリアデザインを具体的に作成することで、この後自分の活動の指針となると思いま

した。「普段では、あまり関わりのない他職種の方の意見などを聞いたこと、交流できることはとても有意義でした。」「チームワークを意識することで、学びが深まり、出来ることも広がることを学びました。」「どういった自分になりたいか言葉にすることで行動に移すきっかけになることを学びました。」等の感想があり、将来に向けてそれぞれがキャリアデザインを描くことができました。

本研修にご協力をいただきました講師・ファシリテーターの皆様には心より感謝申し上げますとともに、これからも福祉に携わる方々の職業人生が輝くよう、事務局も共に歩んでまいります。



皆で考えた寸劇（初任者課程）

### 介護保険制度の要を目指して！

#### 【介護支援専門員実務研修受講試験】愛知県は261人が合格！

第21回介護支援専門員実務研修受講試験が10月14日（日）に全国一斉に実施され、愛知県では1,981人の方が愛知県立大学、名古屋市立大学の2会場で受験しました。

12月4日（火）に合格発表され、愛知県の合格者は261人、合格率は13.2%でした。

合格者が介護支援専門員になるには、3月から行われる16日間（87時間）の「介護支援専門員実務研修」を修了し、県に登録することが必要です。

研修の詳細は、愛知県福祉人材センターのホームページに掲載中です。

[URL]<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/index.html>



# 福祉生きがいセンターだより

## 平成31年度あいちシルバーカレッジ募集開始

あいちシルバーカレッジは、愛知県内にお住まいの60歳以上の方を対象に生きがいと健康づくりを図るとともに、「地域における社会活動の核となる人材を養成すること」を目的として行っています。

主な内容は、講義を中心に、修学旅行、社会見学など、年間30日間のカリキュラムを実施しています。

あいちシルバーカレッジを卒業した後も、同窓会やサークル等を立ち上げ、在学中に構築したつながりや講義で得た知識を生かした活動を継続しています。

あいちシルバーカレッジは、現在28年目を迎え、卒業生は1万人を超えています。卒業生からは、「新しい友達ができ日々が充実した。」「久しぶりに学生気分を味わえて若返った。」などの声が聞かれます。

あいちシルバーカレッジは、来年度29年目を迎えるにあたり、東海会場と

岡崎会場の募集人数の変更を行い、全体で630名で行います。

**定員数変更**  
 岡崎文化教養学科  
 90名 ↓ 100名  
 東海生きがい健康学科  
 70名 ↓ 60名

**対象**  
 愛知県内にお住まいの満60歳以上(昭和34年4月1日以前生まれ)の方で、通学及び各種講義に出席できる健康な方。(ただし、過去にあいちシルバーカレッジに在籍された方は除きます。)

**費用(予定)**  
 入学金1万円、授業料1万3千円(年額)

**募集定員**  
 計630名

**募集期間**  
 1月4日(金)から2月5日(火)まで(当日消印有効)

### 申込方法

各県民相談・情報センター、各市区町村役場、社会福祉協議会等に配布する「募集案内」に添付の申込書で郵送にてお申し込みください。

### 申込・問合せ

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会  
福祉生きがいセンター

### 住所・電話番号

〒461-1001  
名古屋市中区白壁一丁目50番地  
電話(052)212-1552



■講義風景

### 各カレッジ会場・昨年度倍率

学科	定員	講義日 半数程度	会場	平成30年度 倍率
名古屋A文化教養学科	100名	火曜日	愛知県社会福祉会館(愛知県白壁庁舎) 名古屋市中区白壁1丁目50番地	2.8
名古屋A生きがい健康学科	50名			2.1
名古屋B文化教養学科	100名	木曜日		2.5
名古屋B生きがい健康学科	50名			1.8
豊橋 文化教養学科	80名	水曜日	豊橋市民センター(カリヨンビル) 豊橋市松葉町2丁目63番地	1.2
岡崎 文化教養学科	100名	金曜日	岡崎市図書館交流プラザ(りぶら) 岡崎市康生通西4丁目71番地	1.8
一宮 文化教養学科	90名	月曜日	一宮地場産業ファッションデザインセンター 一宮市大和町馬引字南正亀4番地の1	2.2
東海 生きがい健康学科	60名	月曜日	東海市立市民活動センター(ソラト太田川3階) 東海市大田町後田20番地の1	1.1
合計	630名	-	-	2.0



■社会見学での食品サンプルづくり風景

# 天候に恵まれ、元気あふれる全力プレー!! 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会2018」

2018年10月13日(土)～10月15日(月)の3日間にわたり、第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会2018)が福井県において開催され、愛知県からは、個人・団体競技あわせて178名の選手、役員が参加しました。

大会に向けて練習を重ね、気合い充分の選手・役員が、11日、愛知県選手団の青と白のユニフォームを身にまとい愛知県本庁舎の講堂に集合し出発式を行いました。

家族や知人に見送られ、これからの期待と不安が入り混じりながらも、ひきしまった表情で、福井県に出発しました。

選手たちは、大会前日12日の公式練習で、現地練習を行い競技に備えました。

競技1日目は、福井県営陸上競技場で行われた開会式で、天候にも恵まれ、元気いっぱい姿で全体的進をした選手たちは、大きな声援に緊張



■緊張高まる出発式



■開会式での入場行進



■リレー競技3位入賞!!



■ボランティアと一緒に

しつつも、監督やコーチのサポートを受け、全力で競技に挑みました。また、競技の日程の間をつかって、ふれあい広場で、お土産を見たり、競技以外の時間も、選手にとって充実した時間となりました。

陸上、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリングの各個人競技では合計49個のメダル(金メダル8個、銀メダル14個、銅メダル27個)を獲得しました。また、陸上競技4×100mリレー3位と、めざましい活躍でした。団体競技では、知的バスケットボール男子、聴覚バレーボール男子、知的バレーボール男子が3位に入賞し、熱い声援に応え、精一杯競技しました。

成績はもちろんです、大会期間中、共に過ごした仲間達や、現地スタッフとの楽しい交流が選手達にとって、刺激となり、次なる目標を見つけていました。

来年は、2019年10月12日(土)～14日(月)に、茨城県において「いきいき茨城ゆめ大会2019」が開催されます。

皆さんの応援をよろしくお願ひします。

## 第32回ふれあいフォトコンクール入賞者決定



WEB部門 愛知県社会福祉協議会会長賞  
「赤ちゃんと一緒に」中村真由子さん



プリント部門 愛知県知事賞 「秋のひととき」村里茂延さん

今年で第32回目となるふれあいフォトコンクールでは、より写真に親しんでいただくために、今回よりWEB部門を新設いたしました。地域でのふれあいの一場面や、福祉に関する写真を県内外より多数ご応募いただき、28名の入賞者が決まりました。

なお、入賞作品は、11月30日～12月5日の期間、NHK名古屋放送センタービル（プラザウエーブ21）にて展示いたしました。今回も多くのご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

### 《主な入賞者》

#### ▼プリント部門

#### ■愛知県知事賞

名古屋市長 村里 茂延さん

#### ■愛知県社会福祉協議会会長賞

名古屋市長 小林 芳一さん

#### ■NHK厚生文化事業団理事長賞

名古屋市長 片山 久子さん

#### ■中日新聞社会事業団理事長賞

安城市 細井 哲雄さん

#### ■審査員特別賞

一宮市長 橋本 克己さん

#### ■審査員特別賞

春日井市長 齋場ひとし賞

#### ■カメラのアマノ賞

名古屋市長 富田 邦雄さん

#### ■ニコソ賞

名古屋市長 水野 義己さん

#### ■富士フイルムイメージングシステムズ賞

春日井市長 波多野和子さん

#### ▼WEB部門

#### ■愛知県社会福祉協議会会長賞

名古屋市長 中村真由子さん

#### ■審査員特別賞

岡山市市長 青山昌弘賞

#### ■審査員特別賞

神奈川市長 齋場ひとし賞

#### ■審査員特別賞

神奈川市長 柴山 洋さん

## 第66回愛知県社会福祉大会

10月30日(火)にドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)において、県内の社会福祉の第一線で活躍されている関係者10,000名余の方々に参加いただき、第66回愛知県社会福祉大会を開催しました。

第1部の式典では、愛知県警察音楽隊によるオープニングアトラクションで始まり、続いて、多年にわたって社会福祉の推進に功績のあった方や団体に、県知事・県社協会長・県共募会長から、表彰状や感謝状が贈呈されました。また、第2部の協議において、「大会宣言・決議」を参加者の総意をもって採択し、盛会の内に終了しました。

なお、「大会決議」につきましては、11月に、関係機関に陳情を行いました。

#### 陳情書提出先

県、県議会、名古屋市長、名古屋市長、中核市長(豊橋市長・岡崎市長・豊田市長)、県市長会、県市議会議長会、県町村会、県町村議会議長会

## 大会決議

今日、誰もが住み慣れた地域において、安心して暮らすことができ、人間の尊厳が守られる社会を築いていくために、利用者本位の福祉サービス提供体制の充実と地域福祉の基盤強化が強く求められています。

このときにあたり、わたくしたち社会福祉関係者は、福祉力・地域力の向上を図るために、次の事項を決議します。

- 1 地域福祉の中心的担い手である県・市区町村社会福祉協議会の基盤整備を一層強化されたい。
- 2 ボランティア・NPO等の活動に対する支援を充実強化されたい。
- 3 民生委員・児童委員活動に対する支援を一層強化されたい。
- 4 地域における生活困窮者への支援や生活福祉資金貸付事業等のセーフティネット対策を拡充されたい。
- 5 社会福祉法人の非営利性と公益性を踏まえ、現行税制を堅持されたい。
- 6 大規模災害に備えた災害福祉広域支援体制の整備を図るとともに、防災・減災対策を充実強化されたい。
- 7 介護保険サービスの質の向上と安定的な運営及び介護予防と高齢者の生きがい対策を充実強化されたい。
- 8 地域共生社会の実現のため、改正障害者総合支援法による施策を充実強化されたい。
- 9 子ども・子育て支援新制度による保育等施設の量的・質的な拡充や児童虐待予防の取組を始めとする社会的養護施策を総合的に推進されたい。
- 10 母子・父子・寡婦等に対する福祉サービスと就業支援等の自立支援策を充実強化されたい。
- 11 社会福祉施設の整備と運営体制の支援を強化されたい。
- 12 福祉・介護・保育人材の確保、育成、定着のための総合的な対策を一層充実強化されたい。

平成30年10月30日

第66回愛知県社会福祉大会

## 愛知県共同募金会だより

## 歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました



■NHK名古屋放送局での  
寄付金受領風景

共同募金会では、共同募金運動の一環として、毎年12月1日から12月31日まで「歳末たすけあい運動」を展開しております。平成30年度も各市区町村では、「つながり（つなごえあつ みんなの地域づくり）」をスローガンに「地域歳末たすけあい」を、愛知県共同募金会では、報道関係機関（NHK、中部日本放送、東海テレビ福祉文化事業団、名古屋テレビ放送、中京テレビ放送、テレビ愛知、中日新聞社会事業団）のご協力の下、「報道関係歳末たすけあい」を実施しました。

ここで、「報道関係歳末たすけあい」の取り組みの一部をご紹介します。

NHKでは、「NHK歳末たすけあい」として、NHK名古屋放送局・豊橋支局に受付窓口を設置するとともに、全国及び地域の放送番組を編成し、寄付の呼び

かけを行いました。この取り組みは、今年で68回目となります。

また、中部日本放送(CBC)では、児童福祉施設への支援を目的として、放送と連動した募金活動を展開されました。この寄付金は、愛知県を通じて愛知県共同募金会に寄せられ、施設の子どもたちが安心して生活できるための設備整備事業等に配分しています。CBCでは、昭和32年からこうした募金活動に取り組みられています。

報道関係機関各社から寄せられた寄付金は、「報道関係歳末たすけあい打合せ会」において配分先等を協議しており、このような取り組みは、全国的にも珍しく愛知県の特徴的な活動です。

平成30年度の歳末たすけあい運動にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



■CBCチャリティ募金  
寄託贈呈式(12/17開催)  
CBC社長(右)から  
施設の代表者へ目録贈呈

## “ありがとうございます”メッセージ

特定非営利活動法人

愛西児童老人ふれあい館(愛西市)

配分事業・機器備品整備

エアコン、冷蔵庫、テーブル、椅子、ソファベッド

認知症を防ぐための支援活動として「ふれあいサロン」を開設しました。

高齢者と子どもがふれあう快適な室内環境を整え、高齢者の外出の機会を増やし、閉じこもりからの脱却を促すことができました。

サロンは人との出会いの場として、日常的なおしゃべりや、脳若トレーニング、イベントの開催等を実施し、高齢者が自分らしく心豊かに生きるための居場所となり、生きがいを持って暮らせる地域社会を確立できると期待します。

募金にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。



## 「平成30年7月豪雨災害」赤い羽根共同募金が被災地の災害ボランティアセンターを支えます

～愛知県共同募金会の「災害等準備金」から2,080万円を拠出～

全国の都道府県共同募金会では、被災地でのボランティア活動を支援するため、毎年共同募金の3%を「災害等準備金」として積み立てています。平成30年7月豪雨災害に対する災害ボランティアセンターを支援するため、全国の都道府県共同募金会から合計3億円を拠出しました。このうち、愛知県共同募金会からは、2,080万円を拠出してあります。

毎年多くのおみなさんにご協力いただいている赤い羽根共同募金から積み立てられる「災害等準備金」が、被災地でのボランティア活動を支援します。



Q&A

福祉の保険

Q

地震や豪雨で被害に遭われた地域にボランティア活動に行きたいと思えます。ボランティア活動保険の通常の手続きと異なる点はありますか？

A

災害救助法が適用されるような規模の災害の場合は、大規模災害時特例の取り扱いとなり、保険加入申し込み時から即時補償開始となります。また、地震災害のボランティア活動には天災プランの加入をお勧めしています。天災プランに加入していただくと、ボランティア活動中の地震もしくは噴火、津波及びこれらにともなって生じた事故も補償することができます。

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店 (株)みらいの保険 (旧 愛知福祉朝日保険サービス) TEL.052-221-0294  
引受保険会社 三井住友海上火災保険(株) TEL.052-223-4360



ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございます。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていけるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

ご寄付いただいた方(平成30年10月~平成30年11月)

コール・サマー(鹿島郁子)様.....(名古屋市) (1件)

福祉検定 解答

A 1 27.6%

この集計では、従業員31人~300人規模を「中小企業」、301人以上を「大企業」としており、企業規模別では、中小企業39,699社28.2%、大企業3,560社21.8%でした。

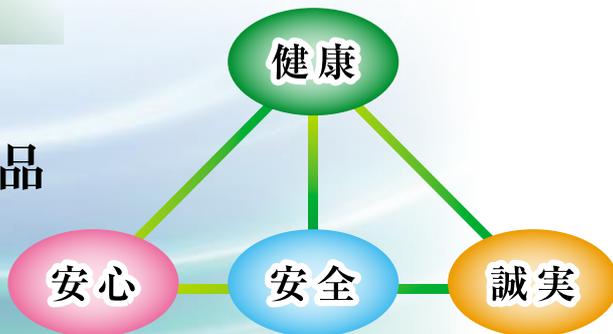
高齢者が年齢に関わりなく働き続けることができる生涯現役社会の実現に向け、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」で、企業に「定年制の廃止」や「定年の引き上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置を講じるように義務付けています。

出典:11月26日発行 福祉新聞  
厚生労働省のページ 平成30年「高齢者の雇用状況」集計結果  
([https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000182200\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000182200_00002.html))

問題は...4ページにあります。

事業内容

医薬品、防疫薬、医薬部外品、化粧品、健康食品、健康関連用品 各種記念品の取り扱い。



家庭常備薬等の斡旋をご利用ください。

お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。

大日商事株式会社

TEL(06)6952-7015

FAX(06)6952-7137

大阪市旭区大宮4丁目18番18号

